

頻繁にトイレに行きたがります…

⇒ トイレ以外のことに関心を持ってもらう
ように働きかけましょう

【 認知症の人の状態 】

とよさと病院 認知症疾患医療センター

2022.6作成

頻繁にトイレに行く理由は、いくつか考えられます。

- ①粗相をしたことがあり“**また粗相をする**のではないか”という心配がある
- ②一度**トイレに行かなければ**と思うと、そのことが頭から離れない
(こだわりの法則…一つのことに注目すると固執する傾向)
- ③**トイレに行ったことをすぐ忘れて**、まだ行っていないと思い込んでいる
(記憶障害…ついさきほど、経験したことを忘れる)
- ④**病気が原因**…男性は、前立腺肥大症や尿閉など
女性は、膀胱炎や尿道結石、子宮筋腫など

【 対応方法 】



- ①実際に尿意があるわけではないが、粗相を心配するあまり、何度もトイレに行くようなら、トイレに立ったところで、テレビの内容について話しかけるなどをして**トイレ以外のことに関心を持ってもらう**ように働きかけてみましょう。
- ②トイレのドアに“**故障中**”などと書いた紙を貼り、使えないことを知らせてみましょう。外から鍵をかける方法もありますが、無理に開けようとすることもあるので、注意しましょう。
- ③トイレへの行き来で転倒のリスクがある場合は、**居室にポータブルトイレ**を用意し、移動を少なくしましょう。
- ④**前立腺肥大症**では、腹圧をかけないと排尿しきれない排尿障害が起こりますが、高齢者は腹圧がかかりにくいいため排尿しきれず、いつも残尿感があることも考えられます。医師に相談しましょう。
- ⑤認知症の人の排泄というと、失禁や不潔行為が問題視されがちですが、**排泄そのものは健康のバロメーター**です。排泄の介助やおむつ替えの際は、排尿や排便がしっかりあるか、量や色などは問題ないか、下痢や便秘をしていないかなどを確認し、病気が疑われるときは、泌尿器科や婦人科を受診しましょう。排尿、排便の時間、量、状態などを記録しておき、病院に持参するといいでしょう。